

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

国語 科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館書店『古典探究』 古文編 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力ようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			経	書	読					
1 学期	1 説話 ・物語の展開をとらえる。 ・話のおもしろさを味わう。	【教材名】 『十訓抄』 「大江山いくの道」	○	○	○	・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。	○	○	○	13
	3 物語 ・歌物語の特徴について理解し、味読する。	【教材名】 『伊勢物語』 「月やあらぬ」	○	○	○	・「読むこと」において、分掌の種類を踏まえて、構成や展開などを的確にとらえている。 ・作品の文学史的な位置づけを理解し、登場人物の心情をつかもうとしている。	○	○	○	
	定期考査						○	○		1
	4 随筆 ・清少納言の感性と機知を理解し、宮廷生活のおもしろさを味わう。	【教材名】 『枕草子』 「中納言参りたまひて」	○	○	○	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	15
	6 日記 ・物語作品などへのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。	【教材名】 『更級日記』 「源氏の五十余巻」	○	○	○	・必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈すると共に、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	○	○	○	
定期考査						○	○		1	
2 学期	5 物語（二） ・登場人物の人間関係を正確につかみ、それぞれの心理の動きをたどる	【教材名】 『源氏物語』 「光源氏の誕生」「若紫」	○	○	○	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。 ・平安時代の貴族文化を踏まえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		
	7 物語（三） ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。	【教材名】 『大鏡』 「競べ弓」「花山院の出家」	○	○	○	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて構成や展開などを的確にとらえている。 ・歴史物語の特徴を踏まえ、人物や事件についての作者の視点を考えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
3 学期	漢文編3 史伝 ・さまざまな人物像を通して人間の生き方について考えを深める。	【教材名】 『史記』 「鴻門の会」	○	○	○	・「読むこと」において、文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・『史記』について興味を持ち、登場人物の行動や心理について考えようとしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○		
										合計
										81

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

国語 科目 論理国語

教科: 国語

科目: 論理国語

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ F組

教科担当者:

使用教科書: ( 桐原書店『探求論理国語』 )

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力ようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		語 句	書	読						
1 学 期	1 評論Ⅰ ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・「ともに生きる」ことについて、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。	【教材名】 『いのちは誰のものか』『晴れた空の下で』	○	○	○		○	○	○	10
	定期考査					○	○			1
	論文を読む ・論文の基本的な読み方を習得する。 ・論文の内容をきっかけとして、小説『山月記』に興味を持つ	【教材名】 「変身に伴う快楽と恐れ『山月記』を通じて」『山月記』	○	○	○		○	○	○	10
定期考査						○	○		1	
2 学 期	論文を読む ・論文の基本的な読み方を習得する。 ・論文の内容をきっかけとして、小説『ころ』に関心を抱く	【教材名】 『淋しい人間『ころ』を通じて』『ころ』	○	○	○		○	○	○	10
	定期考査					○	○			1
	評論Ⅱ ・二項対立による比較対象に着目し、評論の読み方を習得する。	【教材名】 『動物の信号と人間の言語』『行動としての話し言葉』	○	○	○		○	○	○	10
定期考査						○	○		1	
3 学 期	評論Ⅳ ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。	【教材名】 『芸術も科学も『別世界』を見せる』『ロボットは心を持つか』	○	○	○		○	○	○	12
	定期考査					○	○			1
							○	○		合計 57

教科 : 公民 科目 : 公共

対象学年組 : 第2学年A組~F組

教科担当 :

使用教科書 : 実教出版 詳述公共

教科 公民科の目標

広い視野に立って、様々な社会課題を主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な社会・国家の形成者として必要な公民としての資質・能力を養う。

科目 公共の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に取り組む態度等】
青年期や倫理・哲学的な人間や社会のあり方を先人の思想を通じて理解する。現代社会の仕組みや社会課題について理解する。日本や世界の国々の政治制度、経済体制について理解する。	各学習分野ごとの設定されたテーマを考え、自己の考えを明確にする。個人の考えを他者との対話を通じて深める。与えられたテーマについて自己の論旨を明確に表現する。他者との対話を通じて深めた内容やさらに調べた内容をレポートとして執筆し、自身の考えを明確化する。このような学習活動を通じて思考力・判断力・表現力を養う。	広い視野をもち、社会における現象に自ら関わろうとする態度を育成する。学習事項から自己の課題を見出し発展的な学びをしようとする態度を育成する。他者と協働して学ぶ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	当			
<b>I 公共の扉</b> <b>(1)「知識及び技能」</b> ・現代に存在する日本の社会課題を理解する。・先人における人間の捉え方について理解する。・青年期の意義とその特徴について理解する。・青年期の意義と達成すべき課題について自己に結び付けて理解する。・青年もめぐる現代社会の課題について理解する。・職業生活やボランティアの意義について理解する。・先哲の思想を自己の体験に結び付けて理解する。  <b>(2)「思考力・判断力・表現力等」</b> ・日本の社会課題を理解した上で、どのような解決策を図る必要があるか考える。・個人で人間について、青年期について思考し自己の考えをまとめる。・個人の考えを他者との対話を通じて深め、他者の考え方についても学ぶ。・三大宗教について学んだ内容を踏まえ、宗教について考える。・ギリシア哲学、西洋哲学、東洋哲学の先哲の教えを踏まえて幸福、人間の尊厳、自由、人権、公正について自己の考えをまとめる。・自己の考えを他者との対話を通じて深め、広い視野を獲得する。  <b>(3)「主体的に取り組む態度等」</b> ・社会課題からより発展的な内容について自ら探究する。他者と協働して対話をする態度を修得する。・テーマについて、レポートを作成する。	<b>① 社会をつくる私たち</b> ・生涯における青年期の意義 ・青年期と自己形成 ・職業生活青年の生き方 ・現代社会と青年の生き方 <b>③ 民主社会の倫理</b> ・人間の尊厳と平等 ・自由・権利と責任・義務  <b>② 人間としてよく生きる</b> ・幸福とは何か ・ギリシアの思想 ・宗教の教え ・人間の尊厳 ・人間の自由と尊厳 ・個人と社会 ・主体性の確立 ・他者の尊重 ・公正な社会	<b>(1)「知識及び技能」</b> ・自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべきであるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、先人の知恵に触れ、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。  <b>(2)「思考力・判断力・表現力等」</b> ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。  <b>(3)「主体的に取り組む態度等」</b> ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○			10			
			<b>II よりよい社会の形成に参加する私たち</b> <b>(1)「知識及び技能」</b> ・現代に存在する日本の社会課題を理解する。・明治憲法の内容を学び、日本国憲法との違いを理解する。・日本および世界の政治制度を比較して理解する。・日本国憲法が制定された背景とその特徴について理解する。・平和主義の内容と現状について理解する。  <b>(2)「思考力・判断力・表現力等」</b> ・日本の社会課題を理解した上で、どのような解決策を図る必要があるか考える。・世界の政治体制を理解した上で、今後の各国と日本との関係について考える。・日本国憲法の特徴をその背景を理解した上で、現状の課題について考える。・国際情勢の変化とそれに伴いどのようにして平和安全保障法制が制定されたのかを考える。  <b>(3)「主体的に取り組む態度等」</b> ・社会課題からより発展的な内容について自ら探究する。他者と協働して対話をする態度を修得する。・テーマについて、レポートを作成する。	<b>④ 民主国家における基本原理</b> ・人権保障の発展と民主政治の成立 ・国民主権と民主政治の発展  <b>⑤ 日本国憲法の基本的性格</b> ・日本国憲法の成立と性格 ・平和主義	<b>(1)「知識及び技能」</b> ・人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本原理について理解している。 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにし、我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら、が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解している。  <b>(2)「思考力・判断力・表現力等」</b> ・公共的な空間における基本原理について、概念的な枠組みを用いて考察する活動を通し、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れ、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・社会契約説の形成や、自由権の保障から社会権の保障へと向かっていった歴史的背景について協働的に考察し、それらを適切に表現している。  <b>(3)「主体的に取り組む態度等」</b> ・憲法、法や規範の意義及び役割について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・日本国憲法の三大基本原理が人権や政治に果たしている役割について関心を高め、学んだ内容を基によりよい社会づくりに生かそうとしている。 ・集団的自衛権が他国との関係でどのような影響を及ぼしているかについて主体的に検討しようとするとともに、現代の課題を意欲的に解決しようとしている。	○			15
						<b>III 持続可能な社会づくりと私たち</b> <b>(1)「知識及び技能」</b> ・現代に存在する日本の社会課題を理解する。・経済史を通じてこれまでの経済思想・経済状況について理解する。・日常生活の経済と結びつけながら基本的な経済原理について理解する。・消費活動をする上での権利や消費者問題について理解する。・労働者としての権利やハラスメントや不当解雇などの労働問題について理解する。  <b>(2)「思考力・判断力・表現力等」</b> ・日本の社会課題を理解した上で、どのような解決策を図る必要があるか考える。・これまでの経済思想や社会状況をもとに人々に幸福をもたらす経済体制について考える。・基本的な経済原理をもとに、望ましい経済状況の実現にどのような背景を立てる必要があるか考える。・消費者問題に対する具体的な対策について考える。・労働問題を理解した上で、労働問題が発生する構造的問題を考える。  <b>(3)「主体的に取り組む態度等」</b> ・社会課題からより発展的な内容について自ら探究する。他者と協働して対話をする態度を修得する。・テーマについて、レポートを作成する。	<b>⑥ 現代の経済社会</b> ・経済社会の形成と変容 ・市場の仕組み  <b>⑦ 経済活動のあり方と国民福祉</b> ・消費者問題 ・労働問題と雇用	<b>(1)「知識及び技能」</b> ・生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用など、経済の根本的な概念について理解している。 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 ・需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。 ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。 ・消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。 ・消費者保護基本法から消費者基本法にいたる消費者行政の内容を知り、求められる消費者像の変遷について理解している。 ・消費者相談の実態について、国民生活センターのウェブサイトから情報を適切に読み取り、それらをまとめることができる。 ・契約の効力が発生する要件や、消費者契約法に定められている契約取り消しの意義などについて理解している。  <b>(2)「思考力・判断力・表現力等」</b> ・資源の効率的な配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 ・資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 ・市場経済における生産要素の効率的な配分や政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・消費社会の拡大や過度な宣伝等について、消費者主権や消費者の権利の観点から協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 ・消費者の権利と責任について、自由と義務の観点から整理し、レポートにまとめるなど適切に表現している。  <b>(3)「主体的に取り組む態度等」</b> ・よりよい社会の実現を視野に、経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に、経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。需要曲線と供給曲線のシフトする例を意欲的に見出そうとしている。 ・消費者の自立と自己責任について関心を深め、消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に、消費者問題について学習したことを社会生活に生かそうとしている。・よりよい社会の実現を視野に、ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、学習した内容を社会生活に生かそうとしている。	○

高等学校 令和6年度（2学年用）

地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 E組～ F組

教科担当者：

使用教科書：（山川出版社「世界史探究 詳説世界史」）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して認識される日本国家としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を身に付ける。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して認識される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A. 世界史へのまなざし 【知識及び技能】 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解すること。  【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現すること。  【学びに向かう力、人間性等】 世界史へのまなざしについて主体的に関わり、見通しをもって学習に臨み、科学的に探求しようとする態度を養うこと。	世界史へのまなざし① 世界史へのまなざし②	【知識・技能】 ・人類の誕生と地球規模での拡散・異動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解している。 ・衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察している。 ・諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B. 諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定して、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の文明について主体的に関わり、見通しをもって学習に臨み、科学的に探求しようとする態度を養うこと。	第1章 文明の成立と古代文明の歴史的特質	【知識・技能】 諸地域の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 【思考・判断・表現】 様々な資料をもとに、富や地位の差が生まれていった背景や原因、当時の政治や支配のあり方、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	1学期中間考査			○	○		1
	B. 諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解すること。 南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解すること。 西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解すること。 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 概ね8世紀以前の諸地域の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、社会や文化の特色、宗教を基盤とした国家の特徴、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質の形成について主体的に関わり、見通しをもって学習に臨み、科学的に探求しようとする態度を養うこと。	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	【知識・技能】 概ね8世紀以前の世界について、諸地域がそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。  【思考・判断・表現】 概ね8世紀以前の世界について、様々な資料をもとに、それぞれの社会の特徴や近隣諸国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の歴史的特質の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	24
1学期期末考査			○	○		1	



高等学校 令和6年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 地理探究

教科：地理歴史 科目：地理探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 E組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統的・地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に、議論したりする力を養う。	地理に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的多角的な考察や深い理解をする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A. 現代世界の系統地理的考察 【知識及び技能】 地形・気候の成因と地域性を理解し、地形と気候が人間生活に与える影響を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地形と人間の関係、気候と人間の関係を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地形や気候を正しく理解し、その利用と危険回避について、人類にとっての福祉と幸福の観点から考えることができる。	・第1章 自然環境①	【知識及び技能】 ・各地形の形成過程とその土地利用を概ね理解している。 ・大気の循環と各地の気候の関連性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候が人間を含めた生態系と深いかわりがあることを理解し、これらの自然環境と上手に付き合うことの重要性を認識している。 【学びに向かう力、人間性等】 地形と気候との賢い人類の付き合い方を、自らも関わる人類の課題として捉えている。	○	○	○	24
定期考査			○	○	○	1
A. 現代世界の系統地理的考察 【知識及び技能】 日本の自然環境に関する諸事象の特色を理解できる。地球環境問題の現状と課題を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の自然環境と防災・減災との関係性を理解し、自然災害への対処法などを多角的に考察できる。 ・地球環境問題への対応策を多面的・多角亭に考察し、それを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 防災・減災・地球環境問題を自分の問題として捉え、自ら行動できる。	・第1章 自然環境②	【知識及び技能】 日本の自然環境に関する諸事象の特色を理解している。地球環境問題の現状と課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の自然環境と防災・減災との関係性を理解し、自然災害への対処法などを多角的に考察している。 ・地球環境問題への対応策を多面的・多角亭に考察し、それを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 防災・減災・地球環境問題を自分の問題として捉え、自ら行動しようとしている。	○	○	○	8
A. 現代世界の系統地理的考察 【知識及び技能】 農林水産業に関する諸事象の規則性、傾向性を理解する。食料問題の現状と解決への取り組みなどについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 農林水産業に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 農林水産業・食料に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育む。	・第2章 資源と産業①	【知識及び技能】 農林水産業に関する諸事象の規則性、傾向性を理解している。食料問題の現状と解決への取り組みなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 農林水産業に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 農林水産業・食料に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育もうとしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>A. 現代世界の系統地理的考察</p> <p>【知識及び技能】 資源・エネルギー・工業・第3次産業に関する諸事象を基に、それらの事象の規則性、傾向性を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギー・工業・第3次産業に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資源・エネルギー・工業・第3次産業に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育む。</p>	・第2章 資源と産業②	<p>【知識及び技能】 資源・エネルギー・工業・第3次産業に関する諸事象を基に、それらの事象の規則性、傾向性を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギー・工業・第3次産業に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資源・エネルギー・工業・第3次産業に関する課題について、関心と問題意識を高め、自ら解決のため行動する姿勢が見られる。</p>	○	○	○	10
	<p>A. 現代世界の系統地理的考察</p> <p>【知識及び技能】 交通・通信と観光、貿易に関する諸事象を基に、それらの事象の規則性、傾向性を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信と観光、貿易に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信と観光、貿易に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育む。</p>	・第3章交通・通信と観光、貿易	<p>【知識及び技能】 交通・通信と観光、貿易に関する諸事象を基に、それらの事象の規則性、傾向性を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信と観光、貿易に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信と観光、貿易に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育もうとしている。</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
	<p>A. 現代世界の系統地理的考察</p> <p>【知識及び技能】 人口・村落・都市に関する諸事象を基に、それらの事象の規則性、傾向性を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人口・村落・都市に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人口・村落・都市に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育む。</p>	・第4章人口、村落・都市	<p>【知識及び技能】 人口・村落・都市に関する諸事象を基に、それらの事象の規則性、傾向性を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人口・村落・都市に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人口・村落・都市に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育もうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>A. 現代世界の系統地理的考察</p> <p>【知識及び技能】 生活文化・民族・宗教に関する諸事象を基に、それらの事象の規則性、傾向性を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活文化・民族・宗教に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化・民族・宗教に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育む。</p>	・第5章生活文化、民族・宗教	<p>【知識及び技能】 生活文化・民族・宗教に関する諸事象を基に、それらの事象の規則性、傾向性を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活文化・民族・宗教に関する諸事象について、それらの事象の規則性、傾向性などを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化・民族・宗教に関する課題について、関心と問題意識を高め、意欲的に解決しようとする姿勢を育もうとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	<p>B. 現代世界の地誌的考察</p> <p>【知識及び技能】 ・地域概念や地域区分の意義を理解する。</p> <p>・世界各国の歴史的背景、自然環境、文化的特徴、各産業の特色などを理解し、世界各国と日本との関係についても把握できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地域区分の概念・意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・世界各国の歴史的背景、自然環境、文化的特徴、各産業の特色などについて、日本との関係も考えながら、様々な視点より考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・地域区分の概念・意義を理解し、それを活用しようとする姿勢が身に付く。</p> <p>・世界各国と日本との関係を深く考え、より良い関係を築くための努力ができる。</p>	・第1章現代世界の地域区分 ・第2章現代世界の諸地域	<p>【知識及び技能】 ・地域概念や地域区分の意義を理解している。</p> <p>・世界各国の歴史的背景、自然環境、文化的特徴、各産業の特色などを理解し、世界各国と日本との関係についても把握している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地域区分の概念・意義を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・世界各国の歴史的背景、自然環境、文化的特徴、各産業の特色などについて、日本との関係も考えながら、様々な視点より考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・地域区分の概念・意義を理解し、それを活用しようとする姿勢が見られる。</p> <p>・世界各国と日本との関係を深く考え、より良い関係を築くため自ら努力しようと考えている。</p>	○	○	○	37
	<p>C. 現代世界におけるこれからの日本の国土像</p>	・第1章持続可能な国土像の探究	<p>【知識及び技能】 現代世界における日本の国土の特色や課題につ</p>				

<p>【知識及び技能】 現代世界における日本の国土の特色や課題について、多角的で客観的な視点を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本が抱える地理的な諸課題の形成要因について考察し、その過程や結果を表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本が抱える地理的な諸課題に対する問題意識を高め、意欲的に探求しようとしている。</p>	<p>※進捗の関係や進路希望によって、指導の順序や配当時間の変更の可能性もある。</p>	<p>いて、多角的で客観的な視点を身に付けようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本が抱える地理的な諸課題の形成要因について考察し、その過程や結果を表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本が抱える地理的な諸課題に対する問題意識を高め、意欲的に探求しようという姿勢が見られる。</p>	○	○	○	3
定期考査			○	○	○	1
						合計
						145

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 地理歴史科 科目 日本史探求

教科：地理歴史科 科目：日本史探求

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

教科担当者：

使用教科書：（日本史探求『詳説日本史』）

教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】日本列島の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】歴史事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念的に理解し、多面的・多角的に考察したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】歴史事象について、主体的に理解しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探求 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在のつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して深養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第1章 日本文化のあけぼの 【知識及び技能】 人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、堅穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。 【学びに向かう力、人間性等】 資料や地図、表などから情報を読み取り、考えることができる。	1 文化の始まり 日本列島と日本人／旧石器人の生活／縄文文化の成立／縄文人の生活と信仰 2 農耕社会の成立 弥生文化の成立／弥生人の生活／小国の分立／邪馬台国連合	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第2章 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料や地図、表などから情報を読み取り、考えることができる。	1 古墳文化の展開 古墳の出現とヤマト政権／前期中期の古墳／東アジア諸国の交渉／大陸文化の受容／後期の古墳／古墳時代の人々の生活／ヤマト政権と政治制度／古墳の終末 2 飛鳥の朝廷 東アジアの動向とヤマト政権の発展／飛鳥の朝廷と文化	【知識・技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じて、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学期	第3章 律令国家の形成 【知識及び技能】 律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料や地図、表などから情報を読み取り、考えることができる。	3 律令国家の形成 律令国家への道／平城京の時代／律令国家の文化／律令国家の変容	【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	第4章 貴族政治の展開 【知識及び技能】 大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料や地図、表などから情報を読み取り、考えることができる。	4 貴族生活の展開 摂関政治／国風文化／地方政治の展開と武士	【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	26
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>第5章 院政と武士の躍進</p> <p>【知識及び技能】 院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料や地図、表などから情報を読み取り、考えることができる。</p>	<p>5 院政と武士の躍進</p> <p>院政の始まり 院政と平氏政権</p>	<p>【知識・技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する間いを表現し、追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>第6章 武家政権の成立</p> <p>【知識及び技能】 鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料や地図、表などから情報を読み取り、考えることができる。</p>	<p>6 武家政権の誕生</p> <p>鎌倉幕府の成立 武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化</p>	<p>【知識・技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計
							137

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

数学

科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版 NEXT 数学B ）

教科 数学

の目標：

- (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

数列および統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 等差数列と等比数列 【知識及び技能】 数列の概念および数列についての基本的な用語の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 等差数列、等比数列に関する公式が導出される過程を理解した上で求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 等差数列と等比数列の両者を比較しながら理解し、またこれらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする。	・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和	【知識・技能】 一般項から数列の各項、数列の各項から一般項を求めることができる。 等差数列、等比数列の初項から第n項までの和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 等差数列、等比数列の一般項について規則をもとにして考察することができる。 等差数列、等比数列の初項から第n項までの和の求め方について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 等差数列、等比数列のそれぞれの規則をもとにして、一般項について考えようとしている。 等差数列、等比数列の初項から第n項までの和の求め方について考えようとしている。	○	○	○	10
	B いろいろな数列 【知識及び技能】 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数列の和と一般項の関係を、数列と階差数列の関係と対応させて捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 群数列などのいろいろな数列に興味をもち、一般項や和について考察しようとする。	・和の記号Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和	【知識・技能】 Σについて成り立つ性質を理解し、それを用いて和を求めることができる。 階差数列から数列の一般項が求められる仕組みを理解し、具体的に一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 1つの和を、Σを用いて様々な方法で表現することができる。 階差数列から一般項を求めるときや、数列の和から一般項を求めるときに、n=1を別に考える必要がある理由について、数値を変えたりして考察し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然数の和の公式を用いて自然数の2乗の和の公式が導けることに興味をもち、自然数の3乗の和の公式を導こうとする。 数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。	○	○	○	16
	C 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	・漸化式 ・数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式の意味を理解し、数列の具体的な項を求めることができる。 数学的帰納法を用いて等式や不等式の証明ができる。 【思考・判断・表現】 複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 一般項による方法以外にも数列の項を定める方法があることに興味をもち、それらの共通点や相違点などを考察しようとする。 様々な命題の証明に数学的帰納法を活用しようとする態度がある。	○	○	○	12
2 学 期	D 確率分布 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散などを求めること	・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値と分散 ・確率変数の和と積 ・二項分布	【知識・技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。 反復試行の結果を二項分布と捉え、記号で表				

297	<p>ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 確率変数の分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>・正規分布</p>	<p>すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 確率変数の分散、標準偏差の意味を理解し、分布の特徴について判断することができる。標準正規分布の期待値、分散について、既知の公式を用いて証明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。</p> <p>現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。</p>	○	○	○	14
3 学期	<p>E 統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】 母集団と標本、標本調査について理解し、標本平均の期待値や標準偏差を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 標本平均について、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。</p>	<p>・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・推定 ・仮説検定</p>	<p>【知識・技能】 母集団分布について理解し、母平均や母標準偏差を求めることができる。仮説検定の意味を理解し、正規分布を用いた仮説検定ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 信頼度95%の信頼区間の求め方やその意味をもとに、信頼度99%の信頼区間を求めることができる。また、その意味について信頼区間の幅をもとに説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 母平均や母比率の推定について、信頼区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察し、それをもとに実際に適切な推定を行おうとする。</p>	○	○	○	18

年間授業計画

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学C

教科: 数学 科目: 数学C 単位数: 1 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ F組

教科担当: ( )

使用教科書: (数研出版 NEXT 数学C)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解する

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度を養う

科目 数学C

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を導く力、図や図形の構成に着目し、それらの性質を統合的・発見的に導く力、数学的な表現を用いて事象を認識・明瞭・明確に表現する力、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く困難に考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 A ベクトルとその演算 【知識及び技能】 ベクトルの基本性質を理解すること。平面上のベクトルの和、差、実数倍について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 実数などの演算の法則を関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用すること。	・有向成分とベクトル ・ベクトルの加法と減法 ・ベクトルの実数倍と平行 ・単位ベクトル ・ベクトルの分解 ・一次独立	【知識・技能】 平面上のベクトルの意味を理解し、演算ができる。  【思考・判断・表現】 演算法則を理解し、それをベクトルに関連付けられる。ベクトルの平行を理解し、単位ベクトルについて考察できる。どのようなベクトルでも必ず1通りに分解できることを理解している。  【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用することができる。	○	○	○	
1 B ベクトルの成分と内積 【知識及び技能】 ベクトルの成分表示について理解すること。ベクトルの内積及びその基本性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルやその内積の基本性質を用いて図形を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用すること。	・ベクトルの成分表示 ・ベクトルの内積	【知識・技能】 ベクトルの成分表示を理解し、座標平面上で考察できる。  【思考・判断・表現】 ベクトルの内積を求めることができる。成分表示された内積を求めることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用することができる。	○	○	○	13
1 C 位置ベクトル 【知識及び技能】 ベクトルの図形的な意味を理解し、位置ベクトルについて考察できる。 【思考力、判断力、表現力等】 平面上の位置ベクトルを用いて図形を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用すること。	・平面上の位置ベクトル ・内分点の位置ベクトル ・外分点の位置ベクトル ・重心の位置ベクトル	【知識・技能】 位置ベクトルを理解し表現できる。  【思考・判断・表現】 内分点・外分点の位置ベクトルを理解し表現できる。重心の位置ベクトルを表現できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用することができる。	○	○	○	
2 D ベクトルの図形への応用 【知識及び技能】 ベクトルの図形的な意味を理解し、3点が一直線上にあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルの基本性質を理解し、多面的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用すること。	・一直線上にある点 ・2直線の交点の位置ベクトル ・三角形の重心の位置ベクトル	【知識・技能】 ベクトルの図形的な意味を理解し、3点が一直線上にあることを理解している。  【思考・判断・表現】 ベクトルの図形的な意味を理解し、3点が一直線上にあることを理解し、表現できる。三角形の重心について理解し、表現できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用することができる。	○	○	○	13
2 E 図形のベクトル表示 【知識及び技能】 ベクトル方程式の意味を理解し、媒介変数表示の意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトル方程式の意味を理解し、図形を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用すること。	・直線のベクトル方程式 ・平面上の点の存在範囲 ・垂直ベクトル ・円のベクトル方程式	【知識・技能】 平面上の直線のベクトル方程式をもとめることができる。  【思考・判断・表現】 方向ベクトル、法線ベクトルを理解し、表現できる。ベクトルの条件で表された点の存在範囲を求めることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用することができる。	○	○	○	
3 F 空間図形 【知識及び技能】 空間に拡張できることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルやその内積の基本性質などを用いて平面図形や空間図形の性質を見出し、多面的に考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用すること。	・空間の点 ・空間のベクトル ・空間ベクトルの成分表示 ・空間ベクトルの内積 ・ベクトルの空間図形への応用 ・座標空間における図形	【知識・技能】 平面から空間に拡張したことを理解している。平面上の性質を空間に拡張できる。  【思考・判断・表現】 平面上のベクトルの性質を空間でも表現できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルの考えを問題解決に活用することができる。	○	○	○	9

年間授業計画

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

数学 科目 数学Ⅱ

教科: 数学

科目: 数学Ⅱ

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者:

使用教科書: ( 数研出版 NEXT 数学Ⅱ )

教科 数学 の目標:

- (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標:

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡素・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察できるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
A 式と計算 【知識及び技能】 式を扱うための基本的な用語や計算方法、数の体系について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的に見たり、目的に応じた式の変形ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい計算方法や方法について、考察する。 既習事項と関連付けて、数の体系を整理し考察する。	・3次式の展開と因数分解 ・二項定理 ・多項式の割り算 ・分式とその計算 ・恒等式	【知識・技能】 乗法公式や因数分解の公式についての理解をしている。 実数について理解し、簡単な無理数の四則計算ができる。 二項定理の公式を理解し、使えるようにする。 パスカルの三角形を理解している。 【思考・判断・表現】 工夫することで式の展開を簡略化することができる。式によって適切な方法を判断して因数分解ができる。多項式の割り算を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 式変形の工夫について、その理由を振り返って考えたり、よりよい因数分解の方法について考察しようとする。多項式の割り算を多面的に考察し応用できる。	○	○	○	5
B 等式・不等式の証明 【知識及び技能】 等式の意味や不等式の性質について理解する。 等式、不等式の証明ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質をもとに証明方法を考察したり、具体的な事象についての問題解決に不等式を活用したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 現実の問題について、必要な条件を選んで数学化し、それを解決する。また、得られた解を現実問題に当てはめ直し、それを考察する。	・恒等式の証明 ・条件付きの等式の証明 ・実数の大小関係 ・実数の平方 ・平方の大小関係 ・絶対値を含む不等式の証明 ・相加相乗平均	【知識・技能】 等式・不等式の意味や性質について理解し、証明することができる。 【思考・判断・表現】 不等式の性質をもとに証明方法を考察する。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、不等式を問題解決に活用する。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題を解決する際に、既に学習した計算方法と関連付けて、式と多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする。	○	○	○	5
C 複素数と二次方程式の解 【知識及び技能】 数を複素数まで拡張する意義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 二次方程式の解の種類と係数の関係について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用する。	・複素数とその計算 ・二次方程式の解 ・解と係数の関係	【知識・技能】 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 【思考・判断・表現】 2次方程式の解と係数の関係を理解し、使いこなせるようにする。与えられた2数を解にもつ2次方程式が作れる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題を解決する際に、既に学習した計算方法と関連付けて、式と多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする。	○	○	○	5
D 高次方程式 【知識及び技能】 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 解と係数の関係を理解し、方程式をつくることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の事象や日常生活の事象について、方程式を問題解決に活用する。	・剰余の定理と因数定理 ・高次方程式	【知識・技能】 因数定理を理解し、簡単な高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 3次方程式の虚数解から係数が求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の事象や日常生活の事象について、関数を用いて解決しようとする。既習事項を応用し、問題解決に取り組める。	○	○	○	6

1 学  
期

	<p>E 図形と方程式</p> <p>【知識及び技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができるようにする。座標平面上の直線や円を方程式で表せることができる。軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形について構成要素間構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学の事象や日常生活の事象について、図形・方程式を用いて解決しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内分点・外分点、二点間の距離</li> <li>・直線と円の方程式</li> <li>・軌跡と方程式</li> </ul>	<p>【知識・技能】 内分点・外分点の公式を理解し、正確に求めることができる。直線の方程式、円の方程式を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 点と直線の位置関係を理解し、方程式をつくることができる。軌跡の内容を理解し、条件から方程式をつくることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学の事象や日常生活の事象について、軌跡の考え方や、既習事項を応用して、多面的に問題を捉えられる。既習事項を応用し、問題を解くことができる。</p>	○	○	○	18
	<p>F 三角関数</p> <p>【知識及び技能】 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数</li> <li>・一般角、弧度法</li> <li>・三角関数とグラフ</li> <li>・相互関係</li> <li>・加法定理</li> <li>・合成</li> </ul>	<p>【知識・技能】 三角比の定義を理解し、三角比を用いた計量を行うことができる。三角比を関数と認識し理解できる、基本的な相互関係を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 具体的な事象における長さや角度について、三角比を用いて捉え、三角比の値から求めることができる。加法定理を理解しそこから様々な性質を導ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象を数学的に捉え、応用できる。</p>	○	○	○	24
2 学 期	<p>F 指数関数・対数関数</p> <p>【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数への拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。対数の意味とその基本性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連付けて考察すること。指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数法則</li> <li>・指数関数の値の変化とグラフ</li> <li>・対数の計算</li> <li>・指数と対数の相互関係</li> </ul>	<p>【知識・技能】 指数の拡張の意義を理解し、指数法則を理解し扱える。グラフについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 指数と対数の相互関係を理解し、扱える。指数関数・対数関数を多面的に捉えられる。また、簡単な対数の計算ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察できる。</p>	○	○	○	15
3 学 期	<p>G 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】 微分係数や導関数についての意味を理解し、導関数を導くことができる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形を書く方法を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係について考察すること。微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴を考察したりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分係数・導関数</li> <li>・関数の値の増減</li> <li>・極大値・極小値</li> <li>・関数とその導関数との関係</li> <li>・直線と関数のグラフの面積</li> </ul>	<p>【知識・技能】 微分係数や導関数の意味を理解し、導関数を導くことができる。増減表を用いてグラフを書くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 極大値・極小値を理解し、グラフを書ける。直線及び曲線で囲まれた部分の面積を考察し、値をだせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴を考察し応用できる。</p>	○	○	○	27

教科 : 理科 科目 : 化学

対象学年組 : 第2学年A組~F組

教科担当 :

使用教科書 : 啓林館 高等学校 化学

教科 理科の目標

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解する。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けるとともに、実験結果に対する考察をじゅうぶん行うようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見いだし、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。観察、実験結果に対する内容を適切に伝達・表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 授業で得た結果をもとに発展的な興味関心をもって自主的活動を行うようにする。科学的に探究し、その成果をいかして社会や生活との関連を考えられる態度を養う。

科目 化学の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察、実験などを通して、物質の状態変化とその平衡に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察、実験の技能を習得するとともに、物質の状態変化とその平衡に関する事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。	化学的な事物・事象のうち、物質の状態変化とその平衡について関心や探究心をもち、意欲的にそれらの理解や探究に取り組むとともに、科学的な自然観を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時 数	
			○	○	○		
<b>固体の構造</b> ・化学結合とそれぞれの性質、及び結晶構造を理解させる。 ・結晶の構造を理解させる。・アモルファスの性質を理解させる。  <b>物質の状態変化</b> ・状態変化に伴うエネルギーの出入りを学び、物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解させる。 ・状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解させる。  <b>気体の性質</b> ・気体の体積と圧力や温度との関係を理解させる。 ・気体定数と状態方程式、分子量の関係を理解させる。  <b>溶液の性質</b> ・溶解の仕組みを理解させること。また、溶解度を溶解平衡と関連づけて理解させる。 ・身近な現象を通して溶媒と溶液の性質の違いを理解させる。 ・コロイド溶液の性質を理解させる。	化学結合と結晶 結晶の構造 アモルファス(非晶質)  状態変化 気液平衡と蒸気圧  気体の体積の変化 気体の状態方程式	気体、液体、固体の性質を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡及び溶液の性質について理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察することができているか。	○	○	○	6	
	化学反応と熱・光エネルギー ・化学反応における熱の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを理解させる。 ・物質が変化するとき出入りする熱量(反応エンタルピー)は、最初と最後の状態だけで決まり、反応経路には無関係であることを理解させる。 ・化学反応における光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつエンタルピーの差であることを理解させる。	反応熱とエンタルピー 化学反応と光	化学反応に伴うエネルギーの出入り、反応速度及び化学平衡を観察、実験などを通して探究し、化学反応に関する概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察することができているか。	○	○	○	10
	化学反応と電気エネルギー ・電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを理解させる。 ・外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解させる。また、その反応に関与した物質の変化量と電流量との関係について理解させる。	電池 電気分解					10
	反応速度 ・反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解させる。 ・化学反応の仕組みを理解させ、反応速度を速める触媒について理解させる。  化学平衡 ・可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解させる。 ・水のイオン積とpH、弱酸や弱塩基の電離平衡、難溶性塩の溶解平衡について理解させる。	反応の速さ 化学反応と触媒  化学平衡とその移動 電離平衡					6  16
<b>無機物質</b> ・非金属元素の単体及び、その化合物の性質を理解させる。 ・典型金属元素の単体及び、その化合物の性質を理解させる。 ・遷移元素の単体及び、その化合物の性質を理解させる。 ・金属陽イオンの特定や陰イオンとの反応、分離と確認について理解させる。	周期表と元素の分類第1節 水素と貴ガス ハロゲン 酸素・硫黄 窒素・リン 炭素・ケイ素 アルカリ金属 アルカリ土類金属 アルミニウム スズ・鉛 遷移元素 金属イオンの分離と確認	無機物質の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察することができているか。	○	○	○	24	
<b>有機化合物</b> ・有機化合物の特徴と分類を理解させる。 ・元素分析により、組成式・分子式・構造式が決定されることを理解させる。 ・脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連づけて理解させる。 ・不飽和炭化水素、官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について理解させる。・ 酸素を含む脂肪族化合物の性質について理解させる。 ・芳香族化合物の性質について理解させる。・有機化合物の性質を利用し、混合溶液の分離が可能であることを理解させる。	有機化合物の特徴と分類 有機化合物の分析 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸 エステルと油脂第1節 芳香族炭化水素 酸素を含む芳香族化合物	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察することができているか。	○	○	○	24	
<b>高分子化合物</b> ・高分子化合物の分類や特徴を理解させる。	高分子化合物の分類と特徴 天然高分子化合物 糖類 タンパク質 核酸 合成高分子化合物 高分子化合物の合成 合成繊維 プラスチック(合成樹脂) ゴム 生活で利用されている合成樹脂	高分子化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察することができているか。	○	○	○	14	
<b>化学が果たす役割</b>		これまでの学習を受けて、青色LED、医薬品など、私たちの日常生活に活用されている技術とのつながりを考察することができているか。	○	○	○	2	

高等学校 令和6年度 教科

理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ B組

教科担当者：

使用教科書：（数研 物基707 物理基礎）

教科 理科 の目標：物理的なものの見方・考え方を身につけると同時に、より高い科学的自然観を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習した物理の基本的な概念や原理・法則が正しく理解できるようにする。学習した概念や原理・法則をその学習や生活の中で新しい自傷の解釈に応用できるようにする。	課題を遂行するにあたって、科学的・論理的に思考し、判断できるようにする。課題の設定理由、研究過程、結果及びそこから導き出した自らの考えを的確かつ簡潔にわかりやすく相手に伝えられるようにする。	物理的な事物・現象に対して主体的にかかわり、理解できるようにする。物理的な事物・現象に対する気づきから課題を設定し解決できる態度を身に付けさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 運動の表し方</p> <p>【知識及び技能】 物体の速さの式を理解させる。加速度の定義や正負の意味を正しく理解させる。自由落下や鉛直投射において与えられた時刻における高さや速度を求める式の運用ができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 等速直線運動する物体の運動について説明できるようにする。等加速度直線運動する物体の様子について説明できるようにする。自由落下する物体の様子について説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の運動から、速さ、時間、進む距離の関係に興味を持ち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとする。重力加速度の大きさを測定する実験に主体的に取り組ませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>速度</li> <li>加速度</li> <li>落体の運動</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 物体の速さの式を理解している。加速度の定義や正負の意味を正しく理解している。自由落下や鉛直投射において与えられた時刻における高さや速度を求める式の運用ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 等速直線運動する物体の運動について説明ができる。等加速度直線運動する物体の様子について説明できる。自由落下する物体の様子について説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の運動から、速さ、時間、進む距離の関係に興味を持ち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとしている。重力加速度の大きさを測定する実験に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	12
<p>B 運動の法則</p> <p>【知識及び技能】 重力、垂直抗力、摩擦力、張力、弾性力について理解させる。力がベクトル量であることを認識し、力の合成や分解ができるようにする。物体が力を受けるとき、運動状態はどのようになるか、逆に、物体の運動状態からどのような力が働いているか指摘できるようにする。注目する物体に摩擦力はどの向きに現れるか理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 フックの法則とバネ定数の意味を理解し、グラフからバネ定数を読み取ることができる。作用・反作用の法則と2力のつり合いの違いを理解させ、説明できるようにする。慣性の法則、運動方程式が理解でき、問題解決にあたっての式の運用ができるようにする。摩擦力がどのような力化を理解し、運動を妨げる向きに働く運動について考えることができるようにする。水中にある物体にはどのような水圧が加わるか説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 見ること、触ることのできない力に対してどのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるかについて考えさせる。力のつり合いや作用反作用の法則を確かめる実験に主体的に取り組ませる。物体の運動状態は受ける力とどのような関係にあるかについて興味関心を持って理解させる。日常の現象などを通して水中や空気中で圧力があることに興味を寄せ、それらの圧力はどのようにして図ることができるのか考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>力とその働き</li> <li>力のつり合い</li> <li>運動の法則</li> <li>摩擦を受ける運動</li> <li>液体や気体から受ける力</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 重力、垂直抗力、摩擦力、張力、弾性力について理解できている。力がベクトル量であることを認識し、力の合成や分解ができる。物体が力を受けるとき、運動状態はどのようになるか、逆に、物体の運動状態からどのような力が働いているか指摘できる。注目する物体に摩擦力はどの向きに現れるか理解している。圧力を求める式を理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 フックの法則とバネ定数の意味を理解し、グラフからバネ定数を読み取ることができる。作用・反作用の法則と2力のつり合いの違いを理解し、説明できる。慣性の法則、運動方程式が理解でき、問題解決にあたっての式の運用ができる。摩擦力がどのような力化を理解し、運動を妨げる向きに働く運動について考えることができる。水中にある物体にはどのような水圧が加わるか説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 見ること、触ることのできない力に対してどのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるかについて考えようとしている。力のつり合いや作用反作用の法則を確かめる実験に主体的に取り組んでいる。物体の運動状態は受ける力とどのような関係にあるかについて興味関心を持って理解しようとしている。日常の現象などを通して水中や空気中で圧力があることに興味を寄せ、それらの圧力はどのようにして図ることができるのか考えようとしている。</p>	○	○	○	14
C 仕事と力学的エネルギー						

<p>【知識及び技能】 仕事・仕事率を計算して求めることができるようにする。運動エネルギーが<math>1/2mv^2</math>であることを理解させる。重力による位置エネルギーを計算することができるようにする。様々な物体の運動について力学的エネルギー保存の法則を用いることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物体に力が働いていても仕事がないときもあり、それがどのようなときであるかを説明できるようにする。運動エネルギーがどのようなものであるか説明ができるようにする。状態が異なる場合の位置エネルギーを比較して考えることができるようにする。力学的エネルギー保存の法則を用いて物体の運動を定性的に考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解させる。運動している物体はどのようなエネルギーを持っているかについて興味を持ち考えさせる。力学的エネルギー保存の法則について興味関心をもち、理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事</li> <li>運動エネルギー</li> <li>位置エネルギー</li> <li>力学的エネルギー保存の法則</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 仕事・仕事率を計算して求めることができる。運動エネルギーが<math>1/2mv^2</math>であることを理解している。重力による位置エネルギーを計算することができる。様々な物体の運動について力学的エネルギー保存の法則を用いることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物体に力が働いていても仕事がないときもあり、それがどのようなときであるかを説明できる。運動エネルギーがどのようなものであるか説明ができる。状態が異なる場合の位置エネルギーを比較して考えることができる。力学的エネルギー保存の法則を用いて物体の運動を定性的に考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解しようとしている。運動している物体はどのようなエネルギーを持っているかについて興味を持ち考えようとしている。力学的エネルギー保存の法則について興味関心をもち、理解しようとしている。</p>	○	○	9
<p>D 熱</p> <p>【知識及び技能】 温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量、などが正しく理解させる。仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常的な事象を学習内容に照らし合わせて説明できるようにする。日常的な現象を熱と仕事との関係を踏まえて説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 物の温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち理解させる。熱の仕事のじっけに主体的に取り組ませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱と物質の状態</li> <li>熱と仕事</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量、などが正しく理解されている。仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常的な事象を学習内容に照らし合わせて説明できる。日常的な現象を熱と仕事との関係を踏まえて説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 物の温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち理解しようとしている。熱の仕事のじっけに主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	12
<p>E 波動</p> <p>【知識及び技能】 波の発生の原理や基本事項を理解させる。定常波の生じる仕組みを理解させる。日常生活での体験を通して音の波としての性質を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 波の伝わる様子をグラフで表すことができるようにする。定常波を発生させる条件を正しく理解し説明できるようにする。音を伝える際に空気などの媒質が必要であることを説明できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な波の現象に興味を持ち、波の発生原理や基本事項について理解させる。波が衝突や反射するときどのようになるか興味を持って自分の考えを述べるようにすることができるようにする。音に関する身近な問いかけについて自分の考えを述べるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>波と媒質の運動</li> <li>波の伝わり方</li> <li>音の性質</li> <li>発音体の振動と共振・共鳴</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 波の発生の原理や基本事項を理解している。定常波の生じる仕組みを理解している。日常生活での体験を通して音の波としての性質を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 波の伝わる様子をグラフで表すことができる。定常波を発生させる条件を正しく理解し説明できる。音を伝える際に空気などの媒質が必要であることを説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な波の現象に興味を持ち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。波が衝突や反射するときどのようになるか興味を持って自分の考えを述べるようにすることができる。音に関する身近な問いかけについて自分の考えを述べるようにする。</p>	○	○	10
<p>F 電気</p> <p>【知識及び技能】 物体の帯電する仕組みについて理解させる。電流と電圧の基礎について理解させる。ジュールの法則について理解させる。直線電流、円形電流、ソレノイドのつくる磁場の向きを判断することができるようにする。交流電圧の基本について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ガラス棒を絹などで擦った際にそれぞれどのような帯電状態になるかを説明できるようにする。オームの法則を理解し、I-Vグラフより金属の抵抗値を求めることができるようにする。ジュール熱について電流と電圧とどのような関係にあるか説明できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気の性質</li> <li>電流と電気抵抗</li> <li>電気とエネルギー</li> <li>電流と磁場</li> <li>交流と電磁場</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 物体の帯電する仕組みについて理解している。電流と電圧の基礎について理解している。ジュールの法則について理解している。直線電流、円形電流、ソレノイドのつくる磁場の向きを判断することができる。交流電圧の基本について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ガラス棒を絹などで擦った際にそれぞれどのような帯電状態になるかを説明できる。オームの法則を理解し、I-Vグラフより金属の抵抗値を求めることができる。ジュール熱について電流と電圧とどのような関係にあるか説明できる。電流と電圧との関係について説明できる。</p>	○	○	8

<p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な静電気減少についてなぜそうなるのかを述べることができる。電気回路の抵抗の接続の仕方を変えたときに抵抗に加わる電圧と流れる電流の値がどのように変化するか主体的に考えることができる。日常で使う電気を踏まえてジュール熱や電力について主体的に考えることができる。モーターの回転する機構について興味を持つ</p>		<p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な静電気減少についてなぜそうなるのかを述べることができる。電気回路の抵抗の接続の仕方を変えたときに抵抗に加わる電圧と流れる電流の値がどのように変化するか主体的に考えることができる。日常で使う電気を踏まえてジュール熱や電力について主体的に考えることができる。モーターの回転する機構について興味を持ち、主体的に原理を考察することができる。直流と交流の違いや送電時の工夫について主体的に考えることができる</p>			○	
G 物理学と社会						
<p>【知識及び技能】 エネルギーはどのような種類があるのか、また身近な様々な事象でどのようなエネルギー変換が行われているかを理解させる。エネルギー資源にはどのようなものがあるかを把握し、それらの長所と短所を理解させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーの移り変わり</li> <li>・エネルギー資源と発電</li> <li>・物理が拓く世界</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 エネルギーはどのような種類があるのか、また身近な様々な事象でどのようなエネルギー変換が行われているかを理解している。エネルギー資源にはどのようなものがあるかを把握し、それらの長所と短所を理解している。</p>	○			
<p>【思考力、判断力、表現力等】 ある事象についてどのようなエネルギー変換が行われているかを考察し、説明することができるようにする。再生可能エネルギーについて、枯渇静エネルギーとの違いを考え説明できるようにする。私たちの生活をっさ1技術に高校で学んだ物理学の知識がどのように活用されているかを説明できるようにする</p>		<p>【思考力、判断力、表現力等】 ある事象についてどのようなエネルギー変換が行われているかを考察し、説明することができる。再生可能エネルギーについて、枯渇静エネルギーとの違いを考え説明できる。私たちの生活をっさ1技術に高校で学んだ物理学の知識がどのように活用されているかを説明できる。</p>		○		5
<p>【学びに向かう力、人間性等】 太陽電池などで同様に電気をエネルギーを得ているかを主体的に考えることができるようにする。新しいエネルギーである再生可能エネルギーに興味を持ち様々な発電方法における共通点を探するなど、主体的に取り組むことができるようにする。スポーツや防災、自動車などの身近な科学技術に物理学がどのように活用されているかについて興味を持つ</p>		<p>【学びに向かう力、人間性等】 太陽電池などで同様に電気をエネルギーを得ているかを主体的に考えることができる。新しいエネルギーである再生可能エネルギーに興味を持ち様々な発電方法における共通点を探するなど、主体的に取り組むことができる。スポーツや防災、自動車などの身近な科学技術に物理学がどのように活用されているかについて興味を持つ。</p>			○	

教科：保健体育 科目：体育

対象学年組：第2学年A組～F組

教科担当：

使用教科書：新高等保健体育(大修館書店)

教科 保健体育の目標

【知識及び技能】 各種目の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	記 時 数
<b>A 体づくり運動</b> (1)「知識及び技能」 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 体づくり運動、縄跳びに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保することができるようにする。	・縄跳び ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	(1)「知識及び技能」 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 体づくり運動、縄跳びに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
<b>C 陸上競技</b> (1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解できるようにする。長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 長距離走に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保することができるようにする。	・時間走と距離走のタイムトライアル	(1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 長距離走に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
<b>D 水泳</b> (1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解できるようにする。手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	・泳法指導 ・背泳ぎ ・バタフライ	(1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
<b>E 球技【ハンドボール】</b> (1)「知識及び技能」 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などの攻防をすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ハンドボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 (パス・ドリブル・シュート) ・応用練習 (4対4・7対7) ・試合 ・ゲーム及びルールと審判法の理解	(1)「知識及び技能」 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などの攻防をすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ハンドボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10
<b>E 球技【バドミントン】</b> (1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などについて理解できるようにする。状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 バドミントンに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本練習 (クリア・ドライブ・ヘアピン) ・応用練習 (スマッシュ・ドロップショット) ・試合 ・ゲーム及びルールと審判法の理解	(1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などについて理解している。状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 バドミントンに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10
<b>E 球技【ソフトボール】</b> (1)「知識及び技能」 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ソフトボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 (キャッチボール・トスバット・テイング) ・応用練習 (ピッチング・バッティング・走塁と守備の連携) ・試合 ・ゲーム及びルールと審判法の理解	(1)「知識及び技能」 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ソフトボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10
<b>E 球技【バスケットボール】</b> (1)「知識及び技能」 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などの攻防をすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 (パス・ドリブル・シュート) ・応用練習 (3対3・5対5) ・試合 ・ゲーム及びルールと審判法の理解	(1)「知識及び技能」 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などの攻防をすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10
<b>H 体育理論</b> (1)「知識」 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	(1)「知識」 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えられる。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6 70

教科：保健体育 科目：保健

対象学年組：第2学年A組～F組

教科担当：

使用教科書：新高等保健体育(大修館書店)

教科 保健体育の目標

【知識及び技能】 各種目の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
<b>A 生涯を通じる健康【思春期と健康・性意識の変化と性行動の選択】</b> ・思春期における心身の発達や性的成熟について理解する。 ・思春期に起こりやすい健康課題について理解する。 ・自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解する。 ・性行動の選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解する。	・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択	(1)「知識及び技能」 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
<b>B 生涯を通じる健康【結婚生活と健康・妊娠計画と健康・家族計画】</b> ・結婚生活と健康との関係について理解する。 ・結婚生活における夫婦関係、親子関係による健康への影響について理解する。 ・受精、妊娠、出産の過程と、それに伴う健康課題について理解する。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。 ・家族計画の意義について理解する。 ・人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解する。	・結婚生活と健康 ・妊娠計画と健康 ・家族計画	(1)「知識及び技能」 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
<b>C 生涯を通じる健康【加齢と健康・高齢社会に対応した取り組み】</b> ・加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解する。 ・若年期の生活習慣が中高年期の健康に影響することを理解する。 ・高齢社会における健康課題について理解する。 ・高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解する。	・加齢と健康 ・高齢社会に対応した取り組み	(1)「知識及び技能」 ・中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
<b>D 生涯を通じる健康【働くことと健康・労働災害の防止・働く人の健康づくり】</b> ・働くことの意義と働き方の多様化について理解する。 ・働く人における健康問題について理解する。 ・労働環境の変化に伴い、労働災害の要因も変化していることを理解する。 ・労働災害を防止するための様々な取り組みについて理解する。 ・職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動について理解する。 ・働く人の健康には余暇の活用など生活の質の向上も重要であることを理解する。	・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり	(1)「知識及び技能」 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 労働災害と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
<b>E 健康を支える環境づくり【大気汚染と健康・水質汚濁・土壌汚染と健康】</b> ・大気汚染による健康への影響について理解する。 ・地球規模で起きている大気環境の問題について理解する。 ・水質汚濁による健康への影響について理解する。 ・土壌汚染による健康への影響について理解する。	・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康	(1)「知識及び技能」 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
<b>D 健康を支える健康づくり【健康被害を防ぐための環境対策・環境衛生に関わる活動】</b> ・環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策について理解する。 ・産業廃棄物の処理や新たな環境汚染の課題について理解する。 ・安全な水の確保のために必要な上下水道の整備の現状と課題について理解する。 ・生活環境を保全するためのゴミ処理の現状と、今後の課題について理解する。	・健康被害を防ぐための環境対策 ・環境衛生に関わる活動	(1)「知識及び技能」 健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。上下水道の整備、ゴミやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
<b>E 健康を支える健康づくり【食品の安全性と健康・食品の安全性を確保する取り組み】</b> ・食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解する。 ・人々の健康を支えるためには食品の安全性の確保が重要であることを理解する。 ・食品の安全性を確保するための行政や生産・製造者の役割について理解する。 ・食品による健康被害を防ぐために私たち消費者が果たす役割について理解する。	・食品の安全性と健康 ・食品の安全性を確保する取り組み	(1)「知識及び技能」 ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
<b>E 健康を支える健康づくり【保健制度とその活用・医療制度とその活用・医薬品の制度とその活用】</b>						

<ul style="list-style-type: none"> <li>保健行政の役割について理解する。</li> <li>健康の保持・増進には保健サービスの適切な活用が必要であることを理解する。</li> <li>医療保険の仕組みについて理解する。</li> <li>医療サービスの適切な活用方法について理解する。</li> <li>医薬品には承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解する。</li> <li>医薬品は、用法に関する注意を守り、正しく使う必要があることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健制度とその活用</li> <li>医療制度とその活用</li> <li>医薬品の制度とその活用</li> </ul>	<p>(1)「知識及び技能」 我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>(3)「学びに向かう力、人間性等」 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>E 健康を支える健康づくり【様々な保健活動や対策・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策が行われていることを理解する。</li> <li>国際機関や民間機関などにより行われている様々な保健活動や対策について理解する。</li> <li>自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解する。</li> <li>健康を支える環境づくりへの積極的な参加が自他の健康につながることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な保健活動や対策</li> <li>誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり</li> </ul>	<p>(1)「知識及び技能」 我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基いた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている</li> </ul> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>(3)「学びに向かう力、人間性等」 様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
						35

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

外国語

科目 English Communication II

教科： 外国語 科目： English Communication II 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（BLUE MARBLE English Communication II）

教科 英語コミュニケーションII の目標：

- 【知識及び技能】 実際の英語コミュニケーションにおいて、目的、場面、状況に応じて適切に活用できる技能を習得する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 日常な話題や社会的な話題について、その情報や考えなどの概要や要点を的確に理解し、適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化への理解を深め、主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションII の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・日常的な、あるいは社会的な話題について必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 ・日常的な、あるいは社会的な話題について必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 ・日常的な、あるいは社会的な話題について、対話の展開などにおいて基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを話して伝えることができるようにする。	・英語の基礎的な知識や技能を最大限活用しながら、思考力・判断力・表現力を土台にコミュニケーション能力の養成を図る。	・グローバル社会の中で必要とされる国際理解での広い視野を養う。 ・主体的な深い学びを促進し、生徒自らが学びに向かう力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	記 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	Lesson 1 Leadership in Modern Times (現代社会において求められるリーダーシップとは) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 社会・人生 【Language Focus】 英語特有の構文(強調、倒置、無生物主語など) 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 英語の構文を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 リーダーシップについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	6
	Lesson 2 The Diversity of Traditional Houses (世界の伝統的家屋と現在の役割) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 社会・日本文化 【Language Focus】 時制(未来完了) 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 時制を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 伝統家屋についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	7
	Lesson 3 Improving Society with Avatar Robots (社会の孤独を解消する「分身ロボット」) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 心理・社会 【Language Focus】 過去についての推量 受身表現 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 受け身表現、推量の表現を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 Avatarについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	8
	Lesson 4 Approaches to Food Waste (食品ロスとその取り組み) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 スポーツ・歴史 【Language Focus】 不定詞、完了形の様々な表現 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 不定詞、完了表現を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 食品ロスについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	7
2 学 期	Lesson 5 Animals as Indispensable Partners (私たちをサポートしてくれる動物たち) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 科学技術・芸術 【Language Focus】 分詞構文 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 分詞構文を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 アニマルサポートについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	8
	Lesson 6 An Irish Poet on a Mission (日本文学的美しさを世界に広めるアイルランド詩人) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 異文化理解・心理 【Language Focus】 関係詞 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 関係詞を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 翻訳された詩についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	7
	Lesson 7 Be Free from Gender Bias (身近に潜む男性/女性の偏見とそれをなくす取り組み) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 環境・経済 【Language Focus】 比較表現 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 比較表現を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ジェンダーについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	6
	Lesson 8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees (難民保護に尽力した精方貞子の信念) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 人物・文化 【Language Focus】 仮定・要求、命令、必要性、重要性の表現 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 仮定法、必要・重要性の表現を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 国際貢献についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	7
3 学 期	Lesson 9 Tackling Global Warming (地球温暖化の新しい対応策、ジオエンジニアリング) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 環境・生活 【Language Focus】 関係詞 様々な表現 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 関係詞と様々な表現を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 地球温暖化対策についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	6
	Lesson 10 Keys to Finding Happiness (幸せを自分で切り開く方法を科学的に考察する) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	【題材】 平等・労働 【Language Focus】 名詞節 受身表現 【教材】 教科書 ナビゲーションノート Jetリーディング 英単語ターゲット1900(一人一台端末利用)	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 名詞節、受身表現を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 「幸せ」についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある	○	○	○	7







